

2019年10月4日  
丸紅株式会社

サステナビリティへの取組み方針・進捗のお知らせ  
(石炭火力発電事業及び再生可能エネルギー発電事業について)

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）は、2018年9月に石炭火力発電事業及び再生可能エネルギー発電事業に関する取組み方針（以下、「方針」）を公表しました。このたび、方針で定めた目標に対する進捗状況につき以下お知らせします。

## 1. 脱石炭火力発電へのプロセス

石炭火力発電事業によるネット発電容量を、2018年度末の約3GWから2030年までに半減させる方針のもと、アジア地域にて2案件（ネット発電容量合計69MW）の売却を完了、アフリカ・ボツワナでは1案件（ネット発電容量合計150MW）から撤退した結果、石炭火力発電事業による2019年9月末のネット発電容量は約2.7GWとなりました。

## 2. 再生可能エネルギー発電事業への積極的な取組み

再生可能エネルギー発電事業の拡大に向け、再生可能エネルギー電源のネット発電容量ベースでの比率を、2023年までに約20%へ拡大することを目指すという方針のもと、2019年3月にオマーン国にてgross発電容量105MWのアミン太陽光発電事業に着工、同年4月にはアブダビ首長国にてgross発電容量1,177MWのスイハン太陽光発電事業の商業運転を開始しました。

また、英国連結子会社のSmartestEnergy社<sup>\*1</sup>をはじめとする、電力卸売・小売業における再生可能エネルギー電源の取扱いの拡充を推進し、低炭素社会の実現に貢献する方針については、アフリカの未電化地域において太陽光発電を用いた電力サービスを拡大するWASSHA社及びAzuri Technologies社にも出資参画したほか、SmartestEnergy社の米国等第三国への事業展開を決定しました。

丸紅はこれからも、多様なステークホルダーとの適切な連携・協働に努めつつ、世界の気候変動対策への取組みに多様な事業を通じて貢献していきます。

以 上

\*1：丸紅が2001年に英国において設立。再生可能エネルギー電源を中心に独立系中小発電事業者から電力を買い取り、市場への卸売および法人などの需要家への小売を行う。<https://www.smartestenergy.com/>